

令和 8（2026）年度関西医科大学大学院看護学研究科

博士前期課程

入学試験問題 冬期

専門科目（地域看護学）

問題 1 次の用語について説明しなさい。

- 1) 健康信念モデル
- 2) コッホ現象
- 3) 作業環境管理

問題 2 次の設問を読んで、以下の問いに答えなさい。

〔出典：令和 7 年版 高齢社会白書〕

- 1) このグラフから読み取れることを、箇条書きで述べなさい。
- 2) 健康寿命を延ばすために、地域でどのような取り組みが必要か、具体的な取り組みについて述べなさい。

問題 3 次の設問を読んで、以下の問いに答えなさい。

A 市は 10 代の母親の出生率が 2.0%であり、B 県、全国と比較して経年的にも高い値となっている。A 市で母子保健を担当する D 保健師は、こうした 10 代で出産した母親に対する事業の立ち上げを企画している。

- 1) D 保健師が事業を立ち上げる際に、情報収集が必要と考えられる機関や職種について述べなさい。
- 2) あなたが D 保健師であったら、10 代で出産した母親の特徴を踏まえて、どのような事業を展開しますか。事業の内容とその目的について、箇条書きで述べなさい。

令和 8 年度 (2026) 関西医科大学大学院看護学研究科
博士前期課程 入学試験問題 冬期 専門科目 (地域看護学)
出題の意図および解答例

問題 1

【出題の意図】

地域看護学における基礎的な用語の知識を問うものである。

【解答例】

- 1) 健康問題から生じる脅威（脆弱性、重大性）、脅威を避けることによる利益、行動の意思決定に影響する要因（障害、行動のきっかけ、自己効力感の認知に焦点を当てたモデル
- 2) BCG 接種後 1 日から数日以内に接種したところの発赤・腫脹（はれ）及び化膿等を起こすこと結核菌の自然感染を受けている可能性があり、速やかにツベルクリン反応検査や胸部エックス線検査を行う必要がある。
- 3) 作業環境中の有機溶剤や粉じんなど有害因子の状態を把握して、できる限り良好な状態で管理していくこと。危険有害物を取り扱っている作業場があれば、その物質の有害性、取扱量、作業場所への発散状況などを調べ、措置を講じる必要がある。

問題 2

【出題の意図】

図表の読解力と保健師活動への理解および知識に加え、保健師として地域活動を行なう上での発想力や、地域における高齢者の事業に関する理解力を問うものである。

【解答例】

- 1) 男性は、2001 年から 2021 年まで平均寿命・健康寿命が延伸傾向にあったが、2022 年は平均寿命・健康寿命ともに低下した。女性も 2021 年までは男性と同様の傾向にあったが、2022 年は平均寿命のみ低下した。男性の方が、健康寿命・平均寿命ともに短い。女性は、健康寿命と平均寿命の差が大きい。
- 2) 男女ともに健康寿命を伸ばすための取り組みが必要である。具体的には、地域における 100 歳体操などの体力づくりの実施や、高齢者自身のこれまでの経験や特技を生かし、他の世代との交流を深めるような事業の企画が必要である。

問題 3

【出題の意図】

地域看護学を行なう上で基本的なデータの読解力と、地域における母子保健活動の理解

および知識に加え、対象者の理解とその特性を踏まえた支援のあり方、地域における関係機関の役割について問う問題である。

【解答例】

1)

機関：子育て支援センター、保育所、学校（中学校・高等学校）、医療機関（産婦人科・小児科）。

職種：助産師、保育士、教員・養護教諭、臨床心理士、社会福祉士（コミュニティソーシャルワーカー）など。

2)

① 10代で出産した母親を対象としたグループ支援事業。

目的

- ・ 市役所や保健センターにどのような人がいるのか知ってもらい、何かあった時に相談しやすい関係性を作るため。

② 子育て中の10代で出産した母親と10代で妊娠した方の交流会。

目的

- ・ 出産後の生活をイメージしやすくなるため。
- ・ 年齢が近い母親同士の友人を作りやすくなるため。